

～健康教育の充実～

＜大島地区小・中学校養護教諭研修会＞

6月22日、県立奄美図書館において、大島地区内の養護教諭が一堂に会し、保健・食育・安全教育について理解を深めました。

【講義】

県及び大島地区教育行政の重点施策等に基づき、学校保健や食に関する指導の充実に向けて学校として取り組むべきことについて、共通理解を図りました。

【事例発表】

「わたしの健康教育」というテーマで、事例発表を行いました。「学校、家庭、地域全体で進める健康教育～茶花小：池澤麻衣子養護教諭」と、「歯生徒の心と体の成長を育むために～北中：里山久美子養護教諭」の実践事例が提案されました。

各学校における指導に生かされていくことが期待されます。

【研究協議】

「健康相談を充実させるために養護教諭としてどのような取組を行えば良いか」のテーマで、各学校の健康相談の実施状況や校内・校外での連携について、課題や対応策などを話し合いました。健康相談の時間を確保するための工夫や、担任や管理職との情報共有のあり方、SCやSSWとの連携など活発な協議が行われました。

【講演】

「歯と口の健康づくり」という演題で、名瀬保健所の武部あゆみ歯科衛生技師に講演をしていただきました。虫歯予防のためのブラッシングやシュガーコントロール、歯周病対策、噛むことの大切さ等、具体的な事例を基に講演していただきました。そして、歯科保健の目標が、人生の最後までおいしく楽しく食事ができることであり、歯と口に関心を持ってもらうきっかけを作ることであるという話から、今後の学校での指導において多くの示唆を得る有意義な講演となりました。



講演の様子